

「公共図書館における図書館協力の実態についての調査研究」報告会 開催要項

1 趣旨

2024年度から2025年度にかけて国立国会図書館が実施した「公共図書館における図書館協力の実態についての調査研究」の成果に基づき、その共有と議論の深化を目的として、本報告会を開催します。

本調査研究では、アンケート調査及びインタビュー調査を通じて、都道府県立図書館と市町村立図書館等との関係を「支援（都道府県立図書館が自らの資源を、市町村立図書館等の＜求めに応じて提供＞する取組）」と「協力（都道府県立図書館が、自らの資源と市町村立図書館等の資源を＜組み合わせ実施＞する取組）」という二つの観点から捉え、その実態に関する多くの知見を得ることができました。

本報告会では、実際に業務に携わる現場の方々にご登壇いただき、「支援」と「協力」について改めて考える機会とすることを目的としています。全体を二部構成とし、第一部では、報告書『都道府県立図書館における市町村立図書館等に対する支援・協力事業の実態』の概要を説明するとともに、登壇者からのフィードバックを得ます。続く第二部では、登壇者の実務経験を手掛かりとして、「支援」と「協力」のそれぞれの本質（市町村立図書館等と向き合う上で根底にある価値観）を言語化し、共有することを試みます。都道府県立図書館の実態は、各都道府県の様々な状況に応じて多様ですが、市町村立図書館等との関係が不可欠であるという価値観は共有されていると考えられます。こうした認識を踏まえ、「支援」と「協力」の本質に立ち返って検討する機会を設けることにより、各館における今後の展開に資することを期待しております。

2 テーマ

「都道府県立図書館と市町村立図書館等との関係：「支援」と「協力」の今とこれから」

3 開催日時及び開催方法

2026年8月21日（金）14時から16時30分まで

Web会議システム（Microsoft Teams ウェビナー）を使用してオンライン中継します。

また、申込者に対して、2027年3月末までの期間限定で、録画を配信する予定です。

4 参加対象・定員・参加費

公共図書館職員等を中心とする図書館関係者をはじめ、本テーマに関心のある人であればなたでもご参加いただけます。定員は設けません。参加費は無料です。

5 プログラム（予定）

時間	内容	登壇者
14:00～14:10	開会及び趣旨説明	国立国会図書館関西館図書館協力課
14:10～14:55	第1部 支援・協力事業の実態 ①調査結果の概要説明 ②調査研究報告書『都道府県立図書館における市町村立図書館等に対する支援・協力事業の実態』に対するコメント	①荻原幸子氏（専修大学経営学部教授、本調査研究主査） ②有本教子氏（新潟県立図書館 副館長） 大石豊氏（千葉県立東部図書館 図書館連携課長） 城崎しおり氏（富山県立図書館 調査課長） 中田こずえ氏（北海道立図書館 利用サービス部長） 加藤和英氏（岐阜県図書館 サービス課長、 本調査研究メンバー）
14:55～15:00	休憩	
15:00～16:25	第2部「支援」と「協力」をめぐる対話 ・「支援」の本質とは何か ・「協力」の本質とは何か	有本教子氏、大石豊氏、城崎しおり氏、中田こずえ氏、加藤和英氏 コーディネーター：荻原幸子氏
16:25～16:30	閉会	国立国会図書館関西館図書館協力課

司会：国立国会図書館関西館図書館協力課課長補佐 福山 潤三